

令和4年度病害虫発生予察注意報第1号

令和4年4月28日
愛知県

作物名：ムギ類
病害虫名：赤かび病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 名古屋地方気象台4月28日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い見込みであり、ムギ類赤かび病の感染に好適な気象条件となる可能性が高い。
- (2) 前年5月下旬に県内10地点、20ほ場で実施した巡回調査において、ムギ類赤かび病の発病率率は3.45%（平年0.42%、前々年0.15%）と過去10年間と比較して最も高かった。そのため、一次伝染源となる越年した病原菌の量が多いと考えられる。
- (3) 本年4月（27日現在）における気象条件（降雨日数：14日、平均気温：16.8℃）とムギ類赤かび病の発生が多かった前年4月の気象条件（降雨日数：13日、平均気温：15.2℃）を比較すると、本年のほうが感染リスクが高い。

4 防除対策

- (1) 防除適期である開花始めから開花期までの間に、表1または表2を参考に薬剤散布を行う。
- (2) 開花期における防除以降に、降雨が続き気温が高く推移する場合は、開花期防除の7日～10日後に追加防除を行う。
- (3) 耐性菌の発生を防ぐため、追加防除を行う場合はFRACコードを考慮し、同系統の薬剤の連用は避ける。

表1 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	バルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	散布	M7
	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	散布	11
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	トップジンMゾル				
	ベフラン液剤25	収穫14日前まで	3回以内 (但し、出穂期以降は1回以内)	散布	M7
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	7
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
	トリフミン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
	麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布
	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	散布	3
大麦	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	7

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labomechanism/code_pdf01_2021.pdfを参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

表2 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤（無人航空機用）

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	無人航空機による散布	1
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	7
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	無人航空機による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布	7

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2021.pdfを参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 かび毒について

本病原菌は、感染したムギの品質低下や減収の原因になるだけではなく、デオキシニバレノール（DON）やニバレノール（NIV）等のかび毒を発生させることがあります。このため、麦類の生産段階（栽培、乾燥調製、貯蔵）において、赤かび病防除、赤かび病被害粒の選別等により、かび毒汚染の防止、低減を図ることが重要です。詳しくは、農林水産省が「麦類のデオキシニバレノール・ニバレノール汚染低減のための指針（平成20年12月17日公表）（アドレス：https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/kabidoku/）」を公開していますので、参考にしてください。

6 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471